



世界自然遺産の島  
屋久島

No.27

平成26年  
9月

屋久島町 議会だより



シリーズ（学校紹介）④八幡小学校（P15へ続く）

《主な内容》

- ◇第2回定例会 ..... P2～11
- ◇総括質疑 ..... P3
- ◇常任委員会 ..... P4～7

- ◇一般質問 ..... P8～11
- ◇議会報告会 ..... P12～13
- ◇シリーズ[学校紹介] ..... P15

# 第2回定例会

6月16日～25日

## 平成26年度 予算総額 151億3609万4千円

6月16日から25日まで第2回定例会が開催され、平成26年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、条例6件、その他7件の議案が提案されました。

### 条例の制定及び改正

○八幡幼稚園在り方審議会条例の制定Ⅱ（八幡幼稚園の今後の在り方について、審議を行う審議会設置のための条例制定）

○一般職職員の給与に関する条例の一部改正Ⅱ（新たにへき地勤務手当を支給し、教育委員会指導主事の調整額を条例に定める支給率内にするための改正）

○特別職の職員で非常勤のものへの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正Ⅱ（行政評価委員会設置に伴う改正）

○離島開発総合センター条例の一部改正Ⅱ（同センターの使用について、現状に即した規定を整備するための改正）

○特別導入事業基金条例の一部改正Ⅱ（畜産総合対策事業実施要領の廃止に伴う改正）



○電気事業供給条例の一部改正Ⅱ（供給種別等を明文化することにより電気事業の円滑な遂行を図るための改正）

### 補正予算

○一般会計補正予算(第1号)

4億286万7千円を増額し、総額を95億4293万1千円とするもの。

### 【主な歳出】

○財政調整基金等への積立金

Ⅱ3億143万5千円

○尾之間支所屋上防水工事費

Ⅱ350万円

○社会保障・税番号制度システム整備費Ⅱ461万9千円

○前立腺がん他検診委託料Ⅱ439万1千円

○榊川農産物加工施設屋根修繕費Ⅱ337万3千円

○栗生ふれあい加工センター機器購入費Ⅱ788万4千円

○野生鳥獣食肉処理施設整備補助金Ⅱ300万円

○奥宮港湾（宮之浦港・安房港）整備事業負担金Ⅱ290万円

○永田小グラウンド改修工事費Ⅱ250万円

○岳南中給水管改修工事費Ⅱ450万円

○特別会計補正予算

◇介護保険事業(第1号)

地域包括ケアシステム構築経費他64万8千円を増額し、総額を13億7万8千円とするもの。

◇診療所事業(第1号)

医療機器購入費他220万円を増額し、総額を1億9086万8千円とするもの。

◇船舶事業(第1号)

船舶保険料他380万2千円を増額し、総額を3億2204万1千円とするもの。

### その他

◇字の区域の変更

◇屋久島辺地総合整備計画の変更

◇口永良部島辺地総合整備計画の変更

◇財産の取得について

小瀬田班・平内班の消防ポンプ自動車(2台)の購入Ⅱ3477万6千円

◇防災行政無線設備設置工事(地域コミュニティ無線)請負契約の締結について

エコー電子工業株式会社と3億8340万円で契約。

◇一般会計補正予算(第2号)

一湊農林漁家高齢者センターボイラー修繕費106万4千円を増額し、総額を95億4293万1千円とするもの。

◇庁舎問題特別委員会の設置に関する決議を発議。

以上の全ての議案を原案のとおり可決した。

### 請願・陳情

○小人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2015年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願Ⅱ採 択

○川内原発再稼働に反対する意見書の鹿児島県知事への提出を求める陳情Ⅱ採 択

○八幡幼稚園における保育時間終了後の預かり保育実施希望についての陳情Ⅱ採 択

○長峰の未整備道路に関する問題についての陳情Ⅱ不採択



# 総括質疑

## 総括質疑

所属する委員会以外のことについて  
本会議で質疑を行なうものです。

**問** 世界自然遺産登録地域間  
交流推進事業とは。

**答** 将来子供たちが世界自然遺産に評価される自然の価値だけではなく、地域で引き継がれている一つの自然の関わり  
の歴史と文化について理解を深めて地域資産の保全と活用  
の調和に向けた具体的な行動を牽引する地域リーダーとして養成をするものである。  
**問** 省エネ設備導入補助金とは。

**答** 太陽熱温水器の補助である。

**問** 野生動物食肉処理設備事業補助金の限度額の根拠は。

**答** 補助要綱については、田辺市の例を参考に要綱を作成した。

**問** 海岸漂着物地域対策推進事業とは。

**答** 屋久島、口永良部島、10カ所、2100mの地域の漂着物  
の回収を行い、最終的には小型焼却炉で、処理を行う

事業である。  
**問** 榑川、山芋加工施設の修繕費の内容は。

**答** 屋根の改修、電気配線関係、併設されている山芋貯蔵庫のドア3カ所の整備である。

**問** 山芋生産の現状は。

**答** 農家13戸が産直で作業を行っている。生産量は、526tとなっている。

**問** 町営牧場管理運営費の備品購入の公用車購入とは。

**答** 平成14年度に購入した軽トラックの更新に伴うもの。



太陽熱温水器設置でCO2削減を



海岸漂着物等処理する小型焼却炉(宮之浦)

### 議員表決一覧 (賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 ※議長を除く

件名	議員名 結果	石田尾	日高忠	緒方	永野	山崎	真辺有	岩川修	小脇	下野	岩川俊	日高豊	真辺万	寺田	渡辺	満園
		長峰の未整備道路に関する陳情	不採択	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
川内原発再稼働に反対する意見書の鹿児島県知事への提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
八幡幼稚園における保育時間終了後の預かり保育実施希望についての陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

## 第1回臨時議会

5月26日、第1回臨時議会が開催され、税条例の一部改正他7件の承認と平成26年度簡易水道補正予算が提案された。

○税条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認2件と国民健康保険税条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認2件  
〓(地方税法施行令等の一部改正に伴う改正)

○平成25年度補正予算の専決処分事項報告承認・一般会計  
〓(2421万5千円増額し、総額を98億76万2千円とするもの)

・国民健康保険特別会計  
〔予算の増減なし〕  
・介護保険特別会計  
〔1万6千円増額し、総額を13億2657万3千円とするもの〕  
・診療所特別会計  
〔予算の増減なし〕

○平成26年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)  
〓(南部地区水道施設工事費他5091万8千円増額し、総額を6億4787万1千円とするもの)

以上の全ての議案を原案のとおり可決した。

# 常任委員会審査報告

付託された議案を質疑、討論し採決まで行います。

## 総務文教常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案4件、予算案2件、計画案2件の計8件である。審査における主な質疑応答は次のとおり。

八幡幼稚園在り方審議会条例の制定

**問** 町立八幡幼稚園あり方審議会は、統廃合を含めて検討することになるのか。

**答** 八幡幼稚園の幼児数は年々減少しており、これからの増加が見込めないことから、そのあり方を検討する。

**問** 現在の八幡校区の幼児数は。

**答** 5月1日現在で0歳児は0名、1歳児は12名、2歳児3名、4歳児10名、5歳児10名となっている。

**問** 審議会は、クリスマスチャン幼稚園の存続問題があったときに設置すべきで、遅かったのではないか。

**答** ご指摘のとおりであるが、

民間で引き続き継承したいという動きを見る時間も必要であった。

**問** 八幡幼稚園の運営に要する費用で、町負担と父母負担の内訳は。

**答** 年間で、町負担は1560万円、父母負担は80万円程度となっている。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

**問** 職員のへき地手当は、市町村によって違うのか。

**答** 各市町村で決めるべきもので、今回の場合は、県教職員にたいする給与の減額措置が終了したことに伴い、町指導主事に支給しようとする金額が、町が定めている率を超えるため、条例改正で調整しようとするものである。

**問** 教育指導主事の配置には法的根拠があるのか。

**答** 「配置できる」となっており義務ではない。その業務は教育行政の基本方針の策定、具体的事業の立案、学校

への伝達、教職員の指導及び評価など、教育行政を機能させるためには不可欠だ。特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

**問** 行政評価委員会を有効性の高いものにするため、委員会が勧告したことについては、必ず実行するという文言を要項に盛り込むべきではないか。

**答** 意見は尊重するが、そのような文言を盛り込むことは難しい。

**問** 評価委員の選出基準は、町民とするのか。

**答** それを原則としたい。

**問** 評価委員会の開催数と議事録などの情報公開は。

**答** 今年度は5回の委員会開催を考えている。議事録は残す。

**問** 評価委員の選出は公募もあるのか。

**答** 半数近くは公募で選出したい。

**問** 屋久島辺地総合整備計画の変更

**問** 屋久島辺地総合整備計画の変更

**答** 口永良部の学校給食は、規模が小さいため特定離島の対象外になっている。

**問** 口永良部島辺地総合整備計画の変更

**答** 口永良部島辺地総合整備計画の変更



八幡幼稚園の今後は



町有地売却地(県道への進入路として：松峯)

震、津波対策には適用できないのか。

**答** この制度は、都市に比べ遅れている地方の整備を促進するという目的のもので、津波や地震対策事業は対象にならない。

**問** 口永良部島辺地総合整備計画の変更

**答** 口永良部の学校給食は、規模が小さいため特定離島の対象外になっている。

一般会計補正予算(分割)

**問** 町有地売り払いの場所と理由は。

**答** 松峯地区が2件、宮之浦地区が1件で、松峯地区の場合、県道への進入路として個人に、宮之浦地区は用水路跡地をなかよし保育園に売り払うもの。

**問** 行政評価委員会アドバイザリーの委託料、216万4000円の支出の中身は。

**答** 実績のある専門のアドバイザーが、ヒヤリングを通して問題点や参考事例などを提示し、事業の課題や改善点など、行政評価委員会の審査と判断の参考となる資料を作ることが目的で、そのための委託料である。

**問** 永田小学校の整備事業の内容は。

**答** 水はけの悪いグラウンドの整備である。

**問** 庁舎建設に要する一般財源の概算額は、どの程度と考えているか。

**答** 3000㎡で、㎡単価30万円から40万円だとすると、約10億円程度になると考えている。合併推進債で90%が充当されるので、一般財源からの持ち出しは10%程度になると見ている。

**問** 今回繰越金3億円が新たに積み増しされたが、庁舎建設を前にもう少し財源調整基金の上積みを図ってもよかつたのではないか。

**答** 繰り越し金の2分の1の積立をしているが、財調基金については、平成27年度から5年間の交付税減額が見えていることから、このような配分とした。

**問** 町長は、財政調整基金の目標を20億円程度と答弁しているが、庁舎建設を考慮しても、はるかに多い積立になつていないのではないか。一方で子供医療費の無料化や住宅リフォーム対策では他の市町村に大きく立ち遅れている。

**答** 災害や病気の蔓延等に対応するために、ある程度の基金を確保するというのが地方自治法の考えである。町民への助成は必要と判断したから基金を切り崩

してでも行わなければならないが、基金があるからという考え方は違うのではないか。

船舶事業補正予算

**問** 火災損害保険料が増額になつている要因は。

**答** 事故がなければ255万円の保険料が、事故があったために55万円上乘せされ、310万円になった。

**問** コンテナ購入費の目的は。

**答** 今回購入のコンテナは木製のもので、このコンテナに花火を入れそれを通常のコンテナに入れることで、花火運搬が出来ることから判断した。

**問** フェリー太陽に代わる新造船建造基金の上積みを財務に要求したのか。

**答** いま新船の建造については、町費の持ち出しがなくなっても建造できる道を探っている。それは、民間の船舶会社と共有名義で建造し、建造費の償還が終了した時点で町の財産になるというものだ。

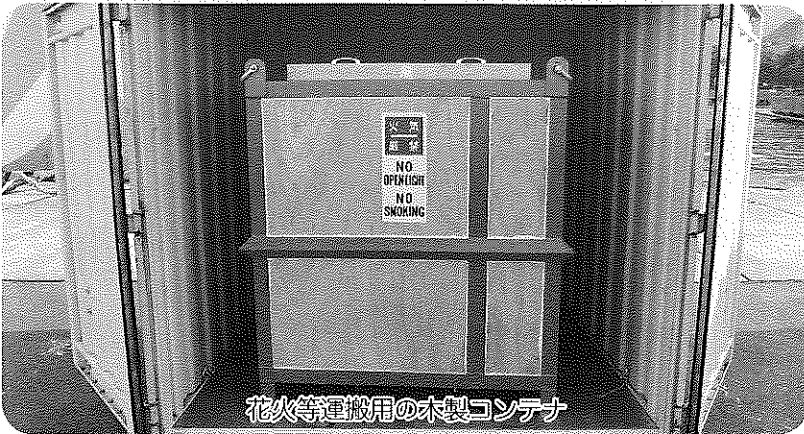
以上、付託された案件は全て原案のとおり可決すべきものとした。



整備が必要な永田小学校グラウンド



保険料が増額したフェリー太陽



花火等運搬用の木製コンテナ

産業厚生常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案2件、予算案3件、その他の案件1件の計6件である。質疑応答等の主なものは次のとおり。

特別導入事業基金条例の一部改正

**問** 今回の改正で特に影響があるのか。

**答** 畜産総合対策事業の貸し付けが最終償還時に80歳未満に変更されたので5年後に償還することを考えれば、75歳未満の者でないとは貸し付けできない。また、貸付肉用牛は市町村の判断で廃用していたが今後は県と協議することになる。

**意** 高齢化が進み、さらに担い手がいなくなり厳しくなるがこれに代わるものに取り組んでほしい。

**問** 電気事業供給条例の一部改正  
**問** どういう変動があつて改正するのか。

**答** 低圧の動力を引き込んだ場合、電灯と合わせて大口になることと、単相二線式では0アンペアまでということ



今後の畜産振興の展望は(旭牧場)



山芋加工施設(楯川)



建設が進む食肉加工処理施設(宮之浦)

明文化した。これで大口かどうかの判断ができる。

**問** 単相三線式のものも必ず電流制限器を取り付けると規定が替わっているが。

**答** 電流制限器は0アンペアまでのものに取り付ける。漏電ブレーカーとは違い、使用量に対して遮断するものである。

一般会計補正予算(分割)

**問** 県営中山間事業で3月議会で実施予定地区は全島と

言ったが屋久島全体か。

**答** 旧屋久町地区である。

**問** 農業技術指導対策費の130万円の減額の内訳は。

**答** 3人分の人件費を計上していたが人事異動で1名減になったため。

**問** この事業の負担金の内容は。

**答** 制度改正があり3つの交付金が再編整備され、これらを合わせて多面的機能支払交付金になった。

**問** この事業は提出書類も厳しいと聞くが。

**答** そのように聞いているが現在8地区が取り組んでいるが途中でやめると全額返納、2年目でやめると遡って返納しなければならぬので継続をお願いしている。

**問** やくところ施設は軽微な修繕等は使用者がやることになっていると思うが。

**答** リスク分担に依じて費用負担することになっている。

**問** 鳥獣被害対策費で食肉処理施設に300万円補助するが経営に対する補助金は。

**答** 考えていない。

**問** 農地台帳整理業務は国と市町村でやるのか。

**答** 地区は国で、台帳内容は町から県を通じて国のシステムに反映させる。

**問** 障害者・児の相談事業は町で運営することになるとい

うが、今後の費用負担は。

**答** 歳入では全額賄えないと

## 常任委員会



豆炭加工の今後は(クリーンサポートセンター)

思うので調整したい。

**問** この事業の設置について説明を求めます。

**答** 1事業所必須だが、事業所から名乗りがなかった。他市町村では、日置市が単独、ほかは民間の事業所である。

**問** 社会福祉協議会も民間も名乗ってこない原因は何か。

**答** 種子島に聞いたところ、介護のケアプラン作成は毎月作成しその都度報酬が入るが、この場合、半年とか1年ごとしか上がってこないの、報酬に見合う仕事ではないとのことであった。

**問** この事業を単独でするということで職員を採用したと



横河渓谷駐車場に設置された看板

のことが。

**答** 2名の応募があり1名採用した。

**問** 3月議会に社会福祉協議会の実態把握を質問したが、その後改革はあったのか。

**答** 話をしたが助成額減額のことまではしていない。今後もし引き続き見直していこうというようにしている。

**問** 豆炭加工は今後もチャコール豊新と契約するのか。

**答** 契約しており履行できないのであれば町が自前でやると前回報告したとおりである。

**意** チャコール豊新には契約しており遂行するようきつく指導してほしい。

**問** 世界自然遺産登録地間交流推進事業の内容は。

**答** 屋久島がリーダーとなり、他の登録地の子供たちと一緒に人と自然の関わりや歴史文化などの研修を深めることで、将来の地域リーダーを養成する。

**問** 観光施設整備費の看板はどこに設置するのか。

**答** 横河渓谷、一湊・春田浜・栗生海水浴場である。

**問** 英語の観光パンフレットを作るといのが中国・韓国からの旅行者も多いがどうか。

**答** 今のところ圧倒的に欧米からの客が多いのでこれを早急につくりたい。

**介護保険事業補正予算**

**問** 適切な指導やケアのため、要介護度が変わる人の生活パターンなど掌握できるデータがあるのか。

**答** その事例は掌握しているが、担当に変化の説明がしつかりできるように指示している。

以上、付託された案件は全て原案のとおり可決すべきものとした。

## 第2回定例会

# 行政報告

○5月18日：第4回屋久島町消防操法大会開催(ポンプ車の部優勝宮之浦班、小型ポンプ車の部優勝麦生班)



町消防操法大会(5月18日)



国際照葉樹林サミットIN屋久島より

○6月6日：第2回国際照葉樹林サミットIN屋久島開催(参加国はブータン、台湾、韓国、国内は綾町、対馬市、奄美市、沖縄県。参加人数350人)

○4月1日より口永良部で、5月15日より南部地で防災行政無線運用開始、本年度個別受信機及び地域コミュニティの早期整備を目指す。

○5月31日：H25年度の出納を閉鎖(国民健康保険の徴収率は現年度分で93・65%で対前年度比+0・73%)

一般質問

# 6人が町の考えを問う

6月17日と18日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。

この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。

なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、詳細については会議録をご覧ください。

**米軍基地等馬毛島移設問題「協議会から離脱すべきでは」**

町長／今後も協議会の一員として歩調を合わせる



小脇 清保 議員

**問** 近隣諸国の脅威や国際的紛争等にかんがみ、集团的自衛権の行使容認について議論しているところでもあり、また、基地のある地域（とりわけ基地の74%が集中する沖縄県）の負担を軽減する相互扶助の観点からも、馬毛島の基地は容認すべきと考える。

**答** 一度この様な基地が設置されると、日米地位協定により、将来的には訓練空域の拡大

大や基地のさまざまな展開が予想され影響が続くことになる。町内の意見も反対署名が過半数を超えており、地元の上、協議会の一員として歩調を合わせていく。

**問** 国の施策に反対して、一



屋久島空港の拡張は

方では空港拡張を陳情しても、実現は不可能ではないか？  
**答** 空港拡張は実現すると思

**有価物(アキ缶)処理について、見直されていない理由は**

町長／有価物は競争入札とする

**問** 昨年の12月議会で、空在处理の適正について見直しを指摘しましたが、当初予算で

は処理委託料の発生は有るが有価物としての歳入はゼロである。現行の委託処理方法を踏襲する事は便宜供与に当たると思う。競争入札で町の歳入を増やすべきではないか？  
**答** 透明性がないという指摘で、色々調査もし指摘に納得出来る部分もある。有価物については競争入札をやるという方向で検討する。

**庁舎移転で住民説明会はしないのか**

町長／住民説明会の予定はない



渡辺 博之 議員

**問** 合併の際、最大の難問となったのがこの庁舎問題である。合併後もこれが難問であることに変わりはない。今の進め方が住民不在だとして住民運動が起きてきていることもその一つの表れと捉えるべきだ。

全国の庁舎設置の進め方を見ると、どこでも庁舎の位置選定については、住民の利便性、他の官公社の位置などに配慮したものでなければならぬと規定している地方自治法(第4条の2項)に沿って検討、その上で、住民説明会やアンケート調査などの手順を踏んで住民の理解のもと決定している。屋久島町の場合、そのことがすっぽり抜けて進められている。自治法に



沿った進め方をすべきだ。住民への説明もすべきではないか。

【答】 このことについては、これまで折にふれ申し上げてきているが、判断の時期は議会、各区长、各種団体長と作るワークショップの中で決定していきたい。いま住民説明会は考えていない。

**庁舎への10億の投資を地域活性化につなげるべき**

町長／地元業者が主体となる方法を検討する

【問】 庁舎建設に投資する10億円が仕事の確保、経済波及につながるように地元業者の関わりを重視すべきではないか。

【答】 庁舎の工事はJV（ジョイントベンチャー）方式や入札要件の整備などの中で、地元業者が主体となる方法を検討したい。また今後の設計の協議の中でも、木材の確保、地元工務店などが施工できる設計となるよう強く働きかけていく。

**町民の生活支援の政治へ転換を**

町長／15億から20億の財調が正常な姿

【問】 財政調整基金が15億円になっている。町民には国保料値上げや消費税増税、軽自動車税の値上げなど負担をしながら、一方で町は基金の上積みが続けるという政治から、住民生活応援の政治へ転換すべきではないか。

【答】 合併時、財調基金は2億円程度だった。この間、町民には我慢をお願いし、職員の数も給与も減らす中で、やっと15億円近くまで積み上げてきた。15億円から20億円の基金が正常な姿と思っている。まずそこをきちんとしてから、住民のための施策を行いたい。

【意】 町民の暮らし応援に基金は使うべきだ。子供医療費の無料化では、県、郡内で見ても大きく遅れをとっている。（町が小学校入学前までにたし、西之表市、南種子町は中学校卒業まで、中種子町は小学校卒業まで無料化実現。）

**公共施設等総合管理計画策定への取り組みは**

町長／総務省の指針を勉強し、担当部署を決めて取り組みたい



山崎 利広 議員

【問】 公共施設等総合管理計画の策定に早めに取り組みべきでは。

【答】 旧火葬場を始め、用途を廃止したまま老朽化が進んでいるものの、撤去費用が捻出できないため、放置している施設がある。

【問】 計画策定に当たっては、行政サービスのバランス等の検討が必要だと思うが。

【答】 本計画によると財源確保ができることから総務省の指針を勉強し、担当部署を決めて計画策定に取り組みたい。



役目を終えた旧火葬場

【答】 その通りだと思う。周囲100kmに24の集落がある屋久島独自の地形も考慮しながら検討したい。

※公共施設等総合管理計画とは「（財政負担の軽減や公共施設の最適な配置の実現を図るため、また総合的かつ計画な管理を推進するため、建築物や道路等の公共建造物などが所有する全ての公共施設等を対象に、老朽化や利用状況等の現況や課題の把握及び分析、そして今後の管理に関する基本方針等を盛り込む計

**少子化対策についてのその後の取り組みは**

町長／関係機関との連携を深め再度検討したい

【問】 少子化対策について前の一般質問の回答で「男女の出会いの場をつくるなど働きかけを行いたい」とのことだったが、その後の取り組みは。

【答】 今のところ検討が進んでいない。結婚に関する情報提供や民間事業所同志での交流の場の橋渡しなど、いろいろ考えられるので関連する関係機関と連携を深め、再度検討したい。

【問】 その対策の効果を上げる一方策として、青年会議所や女性団体と一緒に取り組むべきだと思うが。

【答】 行政単独ではなく一緒にやっていきたい。

【意】 一般質問後の進捗状況について情報を提供してほしい。

「学び・学術・研究の島」屋久島としての地域振興策は

町長／屋久島高校への支援策や屋久島学の充実による「教育の島」屋久島としての施策を実施したい



寺田 猛 議員

問 昨年来、世界自然遺産20周年記念事業、屋久島学ソサエティの設立、国際照葉樹林サミットの開催などで、屋久島は「学びの場」・「教育の島」あるいは「学術・研究の島」として明確に位置づけられ、これらは屋久島の永遠のテーマであるとの想いをあらためて強く感じた。これらをはつきりとした具体的な振興プラン・プロジェクトを立ち上げ、確たる地域振興策を推進すべきでは。

答 全国から生徒募集する屋久島高校への支援策や、日本中の青少年が一度は通過する教育の島として、屋久島学に

伴う知的財産の蓄積と交流人口の拡大のための施策を早急に実施し、屋久島で学ぶ青少年をトータルで支援したい。

水力発電の島・クリーンエネルギーの島・屋久島としての地域振興策を図るべきでは

町長／CO2フリーの島づくりは屋久島観光の目玉ともなり得る施策である

問 鹿児島県が推進する屋久島におけるCO2フリーの島づくり事業とリンクする、水力発電の島・クリーンエネルギー関連の施策を情報発信し、地域振興策とすべきでは。

答 CO2フリーの島づくりの取り組みは、環境行政のみならず観光業や、農林水産・土木・建築・福祉・教育等あらゆる分野で環境に配慮した

方針を念頭に置いた施策を講じて世界自然遺産の冠にふさわしい島づくりを推進し、地域振興策の一翼としたい。



クリーンエネルギー関連施設(宮之浦の充電設備)

人づくりや職の創造に特定離島ふるさとおこし推進事業を導入できないか

町長／口永良部島の振興策に欠かせない事業である。関係機関と協議し情報発信する

水環境の保全対策は

町長／整備を考えていきたい



岩川 俊広 議員

問 昔ながらの永田の小川の風景を取り戻し、水環境の復元に取り組みが必要があると思いますが、見解を伺う。

答 永田地区におけるそうした風景の復活と源流の水が集



水環境の保全対策は(永田)

落の小川に流れるという、里のエコツアー等にも活用できるハード面での整備を考えていきたい。公共事業等については、集落の景観に配慮したあり方を計画に盛り込んで行きたい。

幼児学級の今後・存続

町長／これまで同様に支援

問 永田幼児学級の今後・存続についての見解を伺う。

答 幼児学級の存続については、開設者である公民館長や父母の会等で検討していくべきことであり、町としては開設、運営されている限り支援をしていく。

問 保育時間の延長、それに伴う指導者の待遇の改善についての見解を伺う。

**答** 支援していく基本的な制度は変わっておりませんが、そういった改善計画をまづ見させていただく。それで精査して検討する。

**住民サービスの充実は**

**町長／公民館との連携を強化**

**問** 住民の利便性を考えた時に、住民票等を集落での発行が行えるように出張所業務を推進して拠点を増やしていくべきと思うが見解を伺う。

**答** 公民館との連携を強化することにより、本庁舎方式移行に伴って生じる問題点の解決に大きな役割を果たす可能性が有りますので、将来的には行政サービスの一端を担っていただけのような体制づくりを検討してまいりたい。  
※その他の質問  
○農業振興対策について

**屋久杉自然館の今後の在り方は**  
**町長／運営協議会に諮問し検討する**



日高 豊 議員

**問** 現在の自然館の運営管理の在り方は現場に責任を負える職員が一人もいない状況となつている。施設の持つ情報であつたり、貴重な資料を多

く包蔵した施設であることから現状の在り方は決してよくないと考える。博物館としての機能に重点を置くのか、観光施設としての役割に重点を置くのかなどを含め、今後の自然館の在り様をはつきりさせるべきだと考えるがどうか。  
**答** 開設当初からすると観光施設としての色彩が濃くなつている現状である。管理体制においても自然館の負うべき役割を果たせるような状況となつていないと認識をしている。施設に求められているもの、提供できるものを十分検討し、自然館運営協議会に諮問しその方向性をはつきりと示して行きたい。



開館26年目を迎える屋久杉自然館

**一周県道の安心安全な歩道整備を急げ**

**町長／一日も早い実現を目指す**

**問** 歩道整備について、現在では徒歩での観光客も多く、その安全対策としての視点を加える必要がある。そのために景観地周辺や用地確保の出来る所から整備を行い一周歩道の完成を急ぐべきであり、管理においても集落等の力を活用し維持管理対策を図るべきではないか。  
**答** 屋久島らしい歩道の在り方について県へも意見をしてくている。整備の促進については町の負担も含めて安心安全な一周歩道が一日も早くきちんと整備されるよう取り組んでいく。管理についての提案も県に伝えていく。



歩道未整備の県道(平野)

**噴火警戒レベル3**

8月3日、口永良部島の新岳が1980年9月以来、34年ぶりに噴火し、噴煙が800m以上に達した。気象庁は、噴火警戒レベルを1から3に引き上げ、現在も継続中である。

◆噴火警戒レベルとは  
噴火時に危険な範囲や必要な防災対応をレベル1から5の5段階に区分したもので噴火レベルに応じて次のような防災対策が必要となる。

- レベル5 (避難) Ⅱ 危険な居住地域からの避難
  - レベル4 (避難準備) Ⅱ 警戒が必要な居住地域での避難準備。要援護者は避難等。
  - レベル3 (入山規制) Ⅱ 火口から概ね2km以内の立ち入り禁止
  - レベル2 (火口周辺規制) Ⅱ 火口から概ね1km以内の立ち入り禁止
  - レベル1 (平常) Ⅱ 状況に応じて火口内への立入規制等
- なお、今後も予断を許さない状況が続くとのことで十分な警戒とともに早めの対策が必要である。

# 第1回 議会報告会を開催

議会基本条例に基づき、第1回議会報告会を5月19日から6月5日にかけて、5会場で開催しました。初めての試みで試行錯誤しながらの開催ではありましたが、各会場とも多くの貴重なご意見等が出され、たいへん有意義な議会報告会となりました。今後も、皆様からいただいたアンケート等を参考に、内容を検討したうえで、年1回以上の報告会を開催してまいりますので多数の方の参加をお願いいたします。

各会場で頂いたご意見等やアンケートの一部を紹介します。



本庁方式開始後の有効利用は(尾之間支所)

◇ 尾之間会場 ◇  
(5月19日・参加者16人)

○特別支援教育について、親の支援の在り方、フォローの仕方に施策が必要。

○生活保護世帯の主な減少理由は何か。  
○役場本庁舎方式の導入に関して、尾之間支所の活用について議会としての研究をしてほしい。

○文言や言葉遣い等町民に判り易い報告会にしてほしい。参加者が多くなる工夫を。

◇ 安房会場 ◇  
(5月20日・参加者20人)

○新たな防災無線について、各集落毎に操作が可能な基地局を整備すべきではないか。  
○フェリー太陽の年間経費はどの程度か。  
○高速船の運賃高騰対策に努力してほしい。



更なるごみ分別の徹底を

○旧火葬場の処分計画はどうなっているか。  
○平野地区の水源地工事は、完了間近まで何ら説明がなかったが、濁水時期も大丈夫か。

○ゴミ処理経費削減のため、各ゴミステーションで色瓶の分別をすべきではないか。また、ステーションの数を減らせないか。

○庁舎建設の在り方について、議会での取り組みが必要では。

◇ 一湊会場 ◇  
(5月21日・参加者16人)

○本庁舎建設は林業振興に資することが前提ではないのか。

か。そのことと議会への説明が違っているのではないか。  
○国民健康保険会計は、将来の財源をしっかりと見据えて議会としての判断をしてほしい。  
○一湊中跡地の活用について、早めにくれぐれを付けてほしい。

○猿・鹿の駆除後の焼却処分ができないか。また、鹿肉処理施設の設置の検討を望む。  
○不在家主の危険家屋について、対策を望む。

○志戸子以西の介護保険事業は、施設ではなく通所介護事業としてほしい。  
○予算で計上されたものの情報提供をしてほしい。

◇ 宮之浦会場 ◇  
(5月22日・参加者17人)

○新たな財源対策が必要ではないか。

○庁舎位置について、住民の意見を聞き、円滑に解決してほしい。また、主体的な情報の収集と提供をしてほしい。議会としての意思の方向性を持つてほしい。

○選良としての立場を認識し、議会は議会としてのスタンスを持つてやってほしい。



早急な松枯れ対策を(口永良部島)

◇ 口永良部会場 ◇  
(6月5日・参加者21人)

○いつでも簡単に入居できる住宅がほしい。  
○地域に関係のある内容の話をしてほしい。  
○松枯れ処理を急いでほしい。  
○特定離島事業予算が減額した理由は何か。また、この事業と中山間事業の予算確保の手段をどう考えているか。  
○医師の有無による急患への対応の違いがあるのか。無医であることの現状を認識して検討してほしい。  
○介護保険料の負担はしているがサービスを受けられない現状を理解してほしい。  
○医師不在のため通院が必要な場合の負担が大きくなっている。何とかしてほしい。

アンケート結果

① 参加者合計人数↓90人  
② 回答者の年代別

10代↓20代↓0人  
30代男性↓3人・女性1人  
40代男性↓6人・女性1人  
50代男性↓9人・女性5人  
60代男性↓20人・女性3人  
70代男性↓11人・女性10人  
合計 59人 男性49人  
女性10人

③ 報告会の時間について

長かった↓4人  
普通↓38人  
短かった↓8人  
無回答↓9人

④ 報告会はいかがでしたか。

良かった↓12人  
まあまあ良かった↓27人  
どちらともいえない↓4人  
あまり良くなかった↓4人  
無回答↓10人

⑤ 今後の議会報告会に望むこと及び開催方法等について皆様からのご意見等

○開催の周知方法について検討すべき。  
○委員長報告の要約版が必要。  
○誰もが参加でき発言し易い会の在り方を望む。



初めての議会報告会(回永良部会場)

○資料を判り易くしてほしい。頑張ってください。

○概要報告は簡潔にしてほしい。住民の声を聞く時間を多くもってほしい。今後も続けてください。

○集落の問題点など身近なテーマであれば関心も深まると思う。  
○各議員個々の活動とは違い全議員が各

○回数を重ねる毎に参加者も増えるのではないか。頑張ってください。  
○案件が多岐にわたり難しい。  
○次回は、他の集落で開催してほしい。

○地域の人が多く集まる時に議員の意見を聞かせてほしい。  
○この報告会が地域に根付いて参加者が増え島のことを全員で考えられるようにしたい。

○議案書の予算の主な内容を簡条書きにし、資料として提示してほしい。  
○参加者が少ないのが残念です。町の発展のために今後も続けてほしい。

○ある程度の数字の報告も必要ではないか。  
○議会報告会の資料を事前に配布してほしい。  
○報告量に比べて、資料の中

身が薄い。  
○他の人の意見を聞くことができ良かった。  
○議会が身近に感じられた。お忙しい中、ありがとうございます。

⑥ 今後の町政及び議会に望むこと

○住民の声を具体的に把握する努力と議会提案権を使うよう勉強してほしい。  
○議会と行政との関係に熱が感じられない。報告会は評価するが、一歩進めて各集落での出前議会はどうですか。議会も行政も頑張れ。

○議会の場の質問と普段の議員活動で担当課とのやり取りで解決できることを整理して



施設活用の方向性は(旧小瀬田中)

町の活性化・発展に努力を。  
○避難計画策定の基本方針を作成する必要があるため、現在中止している白子地区の防災無線放送について早急に結論を出してほしい。

○各議員積極的に情報提供をして思う存分活躍して下さい。  
○工夫・改良しながら回数を重ねていけば、定着していくと感じた。頑張ってください。

○志戸子から永田間に通所サービスの場を作ってほしい。  
○歳出削減に知恵を出し合っ

て健全な財政運営を。  
○古い物に更なる価値を与える良い機会、今はそういう時代。庁舎は小瀬田中跡の改築でいいと思う。  
○各地区で町議の座談会等ができるよう努力を。

○障害児支援を必要とする子どもとその家族が安心できるシステム作りを。  
○介護や健康づくりで地域に密着したソフト事業の推進に力を入れてほしい。

○町長・課長と話す場も必要だと思ふ。

# 議会全員協議会報告

◇平成26年6月16日開催

○議会関係

1 議運委員長より農業委員の改選について  
「議会推薦3名のうち2名を女性でお願いしたいと農業委員会会長よりお願いがあった。」

3 庁舎問題特別委員会の設置について  
・本庁舎の位置についての陳情も上がっているの  
で、残された時間もあまりないが、集中して本庁舎の位置を議会で議論する場を設ける必要がある  
ので、本会議最終日に特別委員会設置を提案した  
い。

いる庁舎を視察してはどうか。

2 庁舎の問題で、庁舎を木造で作るとい話を聞いてはいるが、どのようなものなのかイメージがわからないので木造で作って

○町長部局  
1 追加議案の提案について

・農業委員の議選ということであるが、候補者が何人かいてこの中から選んでくださいというのであればわかるが、議員が誰が農業しているかどうかを知っているのか。北部では誰、南部では誰を推薦するのか。もう少し協議する必要がある。

・特別委員会の委員は全議員で構成する。  
◇平成26年6月26日開催  
○議会関係  
1 庁舎問題特別委員会設置に関する決議について  
・発議者に副議長がなり、説明を行う。庁舎問題特別委員会設置後、委員長・副委員長の決定を行う。総務文教特別委員会に付託された陳情について付託替えを行う。

・財産取得について  
・防災行政無線設備設置工事請負契約の締結について  
・一般会計補正予算(第2号)について

◇平成26年7月2日開催

○議会関係

1 第2回臨時議会の日程について  
(1) 日程  
7月14日(月) 10時  
宮之浦議場

(2) 農業委員の選任について  
3名を選出  
・公選の方たちの名簿を出してほしい。地区割りの関係が必要。  
・農業委員会会長に推薦していただいで協議した方がいいのでは。  
・議運の中でも農業委員会委員長がこれまでの経緯や公選法のあり方、また女性登用の件についても説明があったので女性委員が出てくるのではな  
いか。

て  
総務課長から議案の追加について説明

・農業委員会の女性登用はわかるが、業務上の実践的なことを考えると地区別を優先するべきではないか。  
・農業委員会も精査して提案してくるので、我々は粛々と議決すればいいのではないか。

・当日議案配布する。  
◇平成26年7月14日開催  
○議会関係  
1 農業委員の推薦について

・農業委員3名の議会推薦者案件を提案し同意した。

## 議会動向〈平成26年6月～8月〉

6月	5日	議会報告会(口永良部島)	7月	13日	県体熊毛地区大会
	7日	国際照葉樹林サミットin屋久島		14日	第8回全員協議会(宮之浦支所)
	12日	第4回議会運営委員会(尾之間支所)		17日	屋久島高校振興支援委員会議
	16日	第2回定例会開会(～26日まで)		24日	熊毛地域農政企画推進会議
	21日	第5回全員協議会(宮之浦支所)		25日	屋久島山岳部利用対策協議会
	24日	県商工会女性部地域間交流研修会		29日	青森市浪岡地区ホームステイ旅行団歓迎会
	25日	屋久島観光協会総会		30日	第3回庁舎問題特別委員会(現地調査)
	25日	第6回全員協議会(宮之浦支所)		30日	屋久島農業管理センター総会
	25日	県体熊毛地区大会屋久島町結団式	8月	1日	議会広報委員会(尾之間支所)
7月	1日	第1回熊毛消防組合臨時議会(西之表市)		11日	議会広報委員会(安房支所)
	2日	第1回庁舎問題特別委員会(尾之間支所)		19日	第2回屋久島・口永良部島ユネスコエコパーク地域推進協議会
	6日	第7回全員協議会(尾之間支所)		20日	常任委員長研修会(鹿児島市)
	6日	第24回熊毛支部消防操法大会(中種子町)		25日	議会広報委員会(小瀬田)
	7日	第2回庁舎問題特別委員会(尾之間支所)		28日	議会広報委員研修会(鹿児島市)

シリーズ学校紹介④

八幡小学校

◎八幡校区について

八幡校区は、島の南端に位置し、小島、平内、湯泊の3区から構成され、人口は、1071人、世帯数539戸です。(平成26年6月末現在) 破沙岳やモツチョム岳等の秀峰の岳々と紺碧の太平洋を望むことができる風光明媚な郷で、干潮時の前後二時間位しか入浴できない「平内海



海岸巡視後の報告をしている子どもたち

中温泉」が校区内にあり、多くの観光客が訪れています。

八幡小学校は、創立135年目に入り、先輩たちが築き上げてきた歴史と伝統を誇り、地域唯一の文化的な機関として、住民の大きな期待が寄せられ、心の拠り所になっています。また、創立百周年を記念して造営された「記念の森」を中心に、花づくりな



一輪車でメリーゴーランドの技に挑戦中の5年生

ど教育環境の整備にも力を入れており島内でも指折りの美しい学校と称賛されています。

◎八幡小学校の教育

本校では、「八幡」の頭文字を取り、「はきはきにこここ八幡っ子」「ちがいを認める八幡っ子」「まんぞくいっぱい八幡っ子」と銘打ち、かしこく、やさしく、たくましい八幡の子の育成に努めています。

①はきはきにこここ八幡っ子

- ・自分から元気よくあいさつができる子ども

- ・自分の考えをもち、進んで表現できる子ども

②ちがいを認める八幡っ子

- ・友達のよいところを認め、仲よくできる子ども

- ・美しいものに感動し、思いやりがあり、ものを大切にできる子ども

③まんぞくいっぱい八幡っ子

- ・めあてをもち、学習や運動に取り組み、自分を鍛える子ども

- ・苦しみに耐え、最後までやり抜く子ども

◎八幡小学校の「一校一運動」

本校では、屋久島一周マラ

ソン(朝のかけ足)、チャレンジ鹿児島に取り組んでいます。チャレンジ鹿児島には、一輪車や長縄(八の字跳び)、馬跳び等の種目があり、各学級で県内ベストテン入りを目指して頑張っています。3年生以上の子どもたちは、一輪車練習に取り組み、今まで乗れなかった子どもたちも乗れるようになり、いろいろな技ができるようになってきました。

◎屋久島を知るパークレンジャー体験

4年生の総合的な学習の時間の「知ろう、守ろう、屋久島」という単元では、屋久島の素晴らしさを知り、屋久島を守っていききたいという気持ちの育成を図る学習に取り組んでいます。その中の活動の一つに、パークレンジャー体験があります。

パークレンジャー体験とは、世界自然遺産センター職員を講師に招き、実際に海岸巡視活動や西部林道での野生動物の生態観察活動をおしりて、自分たちが住んでいる地域への理解や思いを深め、屋

久島の環境を守る意識・実践力の向上を図っています。

この体験活動をおして、屋久島の自然の豊かさ、動植物の生きる知恵などを学ぶことができ、収集した資料や情報をまとめたり、分析したりする能力を高めることができました。

◎屋久島じょうもん留学制度について

平成24年度から、山海留学生を募集しています。

本年度からは、町教育委員会が窓口となり、募集することになりました。「里親留学」「家族留学」「孫戻し」等の形態があります。本年度は2人の留学生を受け入れています。

お詫び

前号の「議会だより」で、誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

○表紙のナンバー

正ⅡNo.26

誤ⅡNo.27

○7ページの委員会報告

正Ⅱ屋久島物流サービス

誤Ⅱ屋久島物流センター

投稿写真

関口 浩様 (口永良部島)



34年ぶりに噴火した口永良部島・新岳(H26.8.3)

投稿写真募集

風景・行事等テーマは問いません。このコーナーで紹介したい写真をお持ちの方、ぜひご提供ください。一言、写真の説明文を添付していただければたいへん助かります。採用された方には、粗品を進呈いたします。不明な点がありましたら、議会事務局へお問い合わせください。

クイズ

問①議会報告会の参加者が最も多かった会場はどこか。

( ) 会場

②第2回国際照葉樹林サミットIN屋久島に参加した人は何人か。

( ) 人

③今年度の行政評価委員会の開催予定回数は何回か。

( ) 回

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

- 寺田 琴葉 様(宮之浦)
- 溝口 康昭 様(尾之間)
- 村本 栄子 様(小瀬田)

◆締切日

平成26年11月7日(金)消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

屋久島町議会事務局

クイズ係

電話 4315900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 91億3900万円(円)

問2 208(名)

問3 132(名)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。  
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場  
12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

今回初めての議会報告会が開催されました。5会場で共通することは、参加者が少ないということでした。

そのような状況ではありましたが、いろいろと収穫を得ることができました。

今回は議会側からの報告が主なものでしたが、参加された方から貴重なご意見や励ましの言葉もいただきました。

大事なのは今後の報告会の在り方です。

次回からは、皆様方からいただいたご意見や他市町村の方法等も参考にしながら、内容を充分検討し、多くの方が気軽に参加でき、有意義な報告会になるよう、努力する必要があると感じました。(山崎)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

委員 真辺有次